

人生の先輩から…

～100年健康・シニア活躍～



おおす ますみ
大図 真澄さん
(笹目 89歳)

今日も自分の手で、暮らしを編んでいく

1969年に茨城から戸田へ移り住んできた大図さん。農家に生まれ、小さいころから耕運機を使って家業を手伝ったり、いち早くスクーターの免許を取得したりと、とにかく行動派だったそう。

結婚後は、職人だった夫の仕事を支えるため、経理を一から独学で身につけました。多いときには40社分の処理を担うようになったといいます。「自分でやりたい。何でも挑戦する」という思いのもと、今でも税申告の書類は自分で作っています。最近挑戦しているのは、昨年からはじめた編み物です。手編みの服を買ったのがきっかけとなり、編み物の先生から教わったコツを活かして、自らの手を動かしました。最初は靴下から始まり、今ではソファカバーやラグなど大きなものもお家にたくさん。形や色を工夫するのが楽しく、友人にプレゼントすることもあるそうです。「挑戦して、うまくいかなかったときは？」という問いに対して「あきらめない！とにかくやる」と、強く朗らかな笑顔で語る大図さん。持ち前のチャレンジ精神と行動力が大図さんの世界を広げ、彩り豊かな暮らしをつくり上げていました。



こどもアート館



やえがし いぶき
八重樫 一颯さん
(美女木小学校 6年)

作品名

「カオス」

黒→赤→黄→緑→青の順番で画用紙を重ねました。一番後ろの画用紙が見えるように、前の方の画用紙を細かく切って、カラフルになるように工夫しました。見どころは、三角などのいろいろな形で切ったところです。



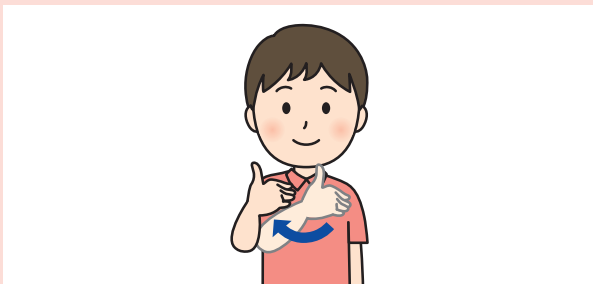
手話でコミュニケーション

第70回

今月は、「大丈夫」「痛い」についての手話を紹介します。

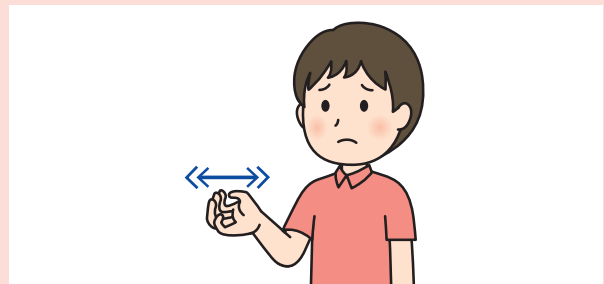
問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

● 大丈夫



指の間を閉じた右手を湾曲させ、左胸に当てた後に右胸に当てる。

● 痛い



右手のひらを上に向け、指の間を開けて曲げ、左右に震わせる。